

西濃に広がる

あったかい

言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係

令和4年2月 第5号

「いつも、ありがとう」

私には、6才程年がはなれた姉がいます。姉は母や父の話もほとんど聞かずに友達とばかり遊んでいます。就職もしているし車のめんきよも持っているため、おそくに帰ってくるのはいつものことでした。ですが12月の母の誕生日はめずらしく早く帰ってきて、両手にはたくさんのもつがにぎられていたのです。母は「またむだづかいしたな」と思い怒ろうとしていたら、姉が「いつも、ありがとう」といってにもつの1つを母にわたしました。よくある話ですが、実際に目の前でみた母の顔は、とてもすてきな笑顔でした。

「だんご虫さん、ラッキーだったね」

学校から持ち帰ったスイカの苗を植えて大切に育てていました。花が咲き、実をつけました。そのうちの1つが長雨の影響で割れてしまいました。それを見つけた時、機嫌が悪くなったり怒ったりしてしまうのかな？と思ってましたが、笑顔で上記の言葉を発しました。自分もまだ食べれてなかったのに、やさしい言葉が出たので、私もうれしくなりました。(保護者)

「おおきに。」

「おおきに。」という言葉は、なくなったおばあちゃんがよく言ってくれた言葉です。ちょっとしたお手伝いをするだけでも「おおきに。」と言ってくれました。病院におばちゃんが入院して、会いに行っただけでも「おおきに。」と言ってくれました。「おおきに。」と言われると、なぜかとてもうれしくなります。今でもおばあちゃんのことを思い出すと、一番最初にこの言葉を思い出すくらい、ぼくの大好きな言葉です。

「がんばってよかった」

登校中地域の方に「おはようございます」というと「おはよう、いってらっしゃい」と言われる。元気なときも学校に行きづらい日も「行ってらっしゃい」の一言で「今日も頑張ろう」と思える。下校の時も、いつも会うと「おかえりなさい」と言われる。どんなときも「がんばってよかった」と思える。きっとあいさつをしなくても過ごせる間柄なのに、その一言で「今日も一日がんばってよかった」と思える。あいさつには不思議な力があると思った。

「友達だよ」

私は人見知りで、同じ小学校の子としか話ができませんでした。友達を作ろうにも、周りの子はたくさんの友達がいって、いつも結局話しかけられませんでした。そんな中、授業を通してクラスメイトと話すことが徐々にできるようになりました。班の子と関わる事が多いのですが、どれだけ関わっていても「勝手に友達って思っているのかな…」と思うことがありました。自信がもてなかった私は、班で一番関わっている子に「私友達がなくて…」とさりげなく言ってみました。その時その子が「私は〇〇さんの友達だよ」と当たり前のように言ってくれました。私にはその言葉が心に響き、とても嬉しかったです。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。

